



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第11号

平成 28 年 3 月 15 日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

滝沢市 自治会連合会

～議会との連携について～

27 年 12 月 10 日に滝沢市自治会連合会の理事の皆さんと「滝沢市議会との連携について」市民懇談会を行いました。

議会側からは議会運営委員会の委員 7 名が出席し、テーマを踏まえた懇談を行いました。

自治会連合会からは、市との連携による自治会加入促進、市職員による地域づくり推進職員の設置、自治会費未納の問題、コミュニティ条例の策定とその取り組み等の紹介があり、議会の支



援がもつと必要で、今後も連携を深めたいとの発言がありました。

市民懇談会

2団体と開催

たきざわ グリーンワークス

～農業の担い手支援について～



28 年 2 月 10 日に「たきざわグリーンワークス」の皆さんと、市民懇談会を行いました。

産業建設常任委員会では議会報告会で、地域課題として浮き彫りになっている「農業の担い手支援」について具体的な調

査を進めています。たきざわグリーンワークスは、市内で農業を行う 40 代までの男女 30 名の青年クラブです。今回は 8 名の出席をいただきました。

出席者からは、新規就農者支援は、基盤づくりにも効果的だが、住まいや耕作地の情報が必要。

個人農家の 6 次産業化は、ハードルが高過ぎる。(特に販売面など)

食育活動では、地元小学校で栽培から給食配給までの体験を広め、市内の全小学校への拡大をめざしている。

借用農地や未使用の農機具のリスト紹介など、多面的な情報を現状解決につなげたい。

妊娠時や子育て支援の充実を望む。

など多数のご意見をいただきました。今後の議会活動や委員会の調査研究に生かします。

滝沢市議会 議会評価とその推移

大項目	小項目	評価視点	H26の結果	H27の結果
Ⅰ 市民参加	①市民からの意見の吸い上げ状況	どの程度市民の意見を吸い上げているか	3	3
	②市民の議会参加状況	議会活動に、どの程度市民が参加しているか	3	3
	③意見の活用状況	議会活動に、どの程度市民から寄せられた意見を活用しているか	2	2
Ⅱ 課題解決能力	①各委員会の所管事務調査報告の内容	地域課題を解決するために、どの程度市民福祉の向上につながる調査研究ができたか	2	2
	②市民参加との関連性	市民から寄せられた意見(地域課題)を踏まえた調査研究が、どの程度できたか	3	3
	③議会独自の視点	市民から寄せられた意見とは別に、議会独自の視点での調査研究が、どの程度できたか	3	3
Ⅲ 意思決定能力	①議案審査に資する委員会の内容	審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか	3	3
	②市民参加や課題解決との関連性	意思決定(採決)に際し、市民参加や調査研究内容をどの程度踏まえて行ったか	3	3
	③請願の審査	請願の審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか	4	3
Ⅳ 透明性	①関連資料の公開	議事録や関連資料等、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか	2	3
	②政務活動の公開	政務活動の具体的な内容について、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか	3	3
	③発信媒体	公開するための発信媒体が、複数の手法によりどの程度見る方に配慮しているか	3	3

今年も実施しました
「議会評価」

議会では 27 年中の議会活動を振り返り「議会評価」を実施しました。

議会を評価する仕組みは全国でもほとんどなく、滝沢市議会独自の基

議会評価の結果は

なければなりません。議会の役割がより重要になっていることから、議会の仕組みや仕事ぶりを自ら評価しています。

を大項目とし、それぞれ小項目を 3 つずつ設け、合計 12 項目を次の 5 段階で評価しました。

- 「5」理想の議会像
- 「4」十分良好な状態
- 「3」良好な状態
- 「2」改善が必要な状態
- 「1」早急に改善が必要な状態

と定義した評価の結果は、左上の表のとおりです。

改善策が功を奏し、昨年と比べて評価が上がった項目が 1 つ。逆に下がった項目が 1 つありました。

また、昨年の評価が「2」と低かった項目を中心に、全体として底上げに取り組んだものの、現状維持が 10 項目という結果となりました。

今後の
取り組みは

議会では、昨年の評価を踏まえてさまざまな改善を行ってきました。しかし、大幅な向上が見られなかった今回の結果を受け、もう一度その改善策を振り返る必要があると考えます。

議会評価を通じて、結果が下がった項目はもちろん、取り組みを重ねても評価が上がらなかった項目等を分析し、理想の議会像「5」を目標に、市民福祉の向上に直結する議案をめぐります。

1～2月会議 議決一覧

1月会議

全員賛成で議決した議案

承認第 1 号	滝沢市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて
---------	---

※賛否が分かれた議案は、ありませんでした。

議会用語
ピンポイント解説

- ①国の28年度税制改革大綱が閣議決定されたため、本市でも既存の『滝沢市税条例の一部を改正する条例』を改正し、対応するものです。
- ②ここで言う**専決処分**とは、本来議会の議決が必要な案件であるものの、議会が閉会中であったために市長が独自の判断で処理を行い、次の定例会議で議会の承認を得る行為を指します。

2月会議

全員賛成で議決した議案

議案第 1 号	平成27年度滝沢市一般会計補正予算(第5号)
議案第 2 号	平成27年度滝沢市防災行政無線施設更新整備工事請負変更契約の締結について
議案第 3 号	滝沢市簡易水道事業導配水管布設工事請負変更契約の締結について

※賛否が分かれた議案は、ありませんでした。

変更となった委員会の内容

委員会の名称	取り扱う事務	氏 名	役 職
広聴常任委員会(6人)	議会広報誌、市民懇談会、市民議会その他広聴活動に関すること	佐藤 澄子	委員長
		日向 清一	副委員長
		齋 藤 明	委員
		小田島 清美	委員
		稲荷場 裕	委員
		松 村 一	委員
広報常任委員会(6人)	議会広報誌及びホームページの編集に関すること	相原 孝彦	委員長
		武 田 哲	副委員長
		日向 裕子	委員
		川 村 守	委員
		藤 原 治	委員
		桜井 博義	委員

議会では、これまでの「広聴広報常任委員会」の活動を振り返り、その在り方を検討しました。その結果、市民の皆様
の意見を聞く「広聴部門」と、議会の活動をお知らせしてその透明性を高める「広報部門」についてさらに充実させる必要がある
と判断しました。そのため、広聴広報常任委員会を分け「広聴常任委員会」と「広報常任委員会」を設けることとしました。

議会評価の結果を受けて

1ページでもお知らせしましたが、議会では「議会評価」を昨年と今年の2回実施しました。第1回目となる昨年の評価の結果「2」という項目が3つあったため、今回の議会構成の変更は「2」の項目を改善する目的で行ったものです。具体的には、市民参加の小項目にある「意見の活用状況」について、広聴という観点に着目し、よりよい仕組みを検討するための広聴常任委員会を新たに設けました。また、透明性の小項目にある「関連資料の公開」について、議会活動の状況をいかにタイムリーに見やすく、そして正しく伝えるかを実践するために、広報常任委員会を新たに設けたものです。

今後、生かすために

委員会を分離して作業を分担することで、今まで以上に充実した環境が整いました。2つの委員会では、あるべき広聴や広報の手法を研究し、今後の活動に生かしていきます。

議会構成が変わりました
「広聴部門」と「広報部門」に分離

議会の今後の予定

3月17日(木)	3月会議※
3月22日(火)	3月会議※
3月22日(火)	全員協議会
5月19日(木)	議会運営委員会
5月19日(木)	全員協議会

このほか、常任委員会毎に、随時日程を決定し活動を行います。
※は、本議会場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

1月・2月会議の傍聴者
48名

- ～お知らせ～
- ◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。
- ◎議場・議会事務局は市役所4階です。
- ◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますので、ご了承ください。

傍聴におでんせ!

